

## 静岡市ものづくり産業振興基本計画の実施状況等について

静岡市ものづくり産業振興基本計画（以下「基本計画」という。）の実施状況については、静岡市ものづくり産業振興条例（以下「条例」という。）第8条第7項の規定に基づき、次に掲げる事項により報告いたします。

### 1 経 緯

基本計画については、平成23年3月、本市のものづくり産業の振興に向けた議員提案をもとに制定された条例を根拠とし、同条第18条に規定する静岡市ものづくり産業振興審議会（以下「審議会」という。）及び関係機関との連携を図りながら、基本計画の策定に向けて取り組んできました。具体的には、平成23年9月に審議会へ基本計画策定案の検討を諮問し、その後、パブリックコメントなどを経て、平成24年7月に「多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡」を計画目標とする基本計画を市長の定例記者会見において、公表・施行し、計画目標の達成に向けて取り組んでいるところであります。

### 2 基本計画の概要

基本計画については、条例に掲げる趣旨の具現化に向けたプロセスであることから、計画目標を支える5つの方針と11の施策に基づいて、全49事業を振り分けるとともに、計画期間における成果目標の設定を含めて体系化を図ったものであります。これは、製造業を中心とする本市ものづくり産業の振興を図るための基盤となるものであります。

根 拠 法 令	静岡市ものづくり産業振興条例第8条第1項（基本計画の策定等）
計 画 期 間	平成24～26年度（3か年度）
策 定 目 的	本市ものづくり産業の総合的かつ計画的な振興を図るため
計 画 構 成 等	①計画目標 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡 ②方 針 方針1 … 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 方針2 … 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 方針3 … 連携を活かした新たな取組みの推進 方針4 … ものづくり産業を育てる環境整備 方針5 … ものづくり産業への理解促進と情報発信 ③施策事業等 各事業の成果目標及び事業実績一覧表のとおり

基本計画の実施主体については、計画目標の達成に向けた事業を実施する担当課として、経済局商工部4課及び教育委員会事務局教育部1課の計5課が基本計画の推進に取り組んでいます。

事業担当課では、事業が振り分けられた方針や施策を踏まえるとともに、計画目標を達成するための成果目標のもとで、効率的かつ効果的な事業運営に努め、同時に進捗管理を図りながら事業を推進してきたところであります。

経済局商工部（4課）	地域産業課、産業政策課、商業労政課、観光・シティプロモーション課
教育委員会事務局教育部（1課）	学校教育課

### 3 実施状況等

基本計画については、前項のとおり、計画目標の達成に向けて、体系的が図られたものであるため、その実施状況にあたっては、一事業の進捗状況を注視するだけでなく、計画目標を実現させるために掲げた方針の進捗状況を主体的に捉えることで、計画全般を総合的に把握する必要があります。そのため、今回の報告では、図1のとおり、計画目標の大項目である5つの方針を基本的な枠組みと捉えるとともに、その中に位置付けられた施策毎の事業に関する進捗状況をもとに、方針毎の実施状況を把握しています。その後、それぞれの方針に関する進捗状況を総合的に判断した結果をもとに、基本計画の実施状況を包括的に評価しています。

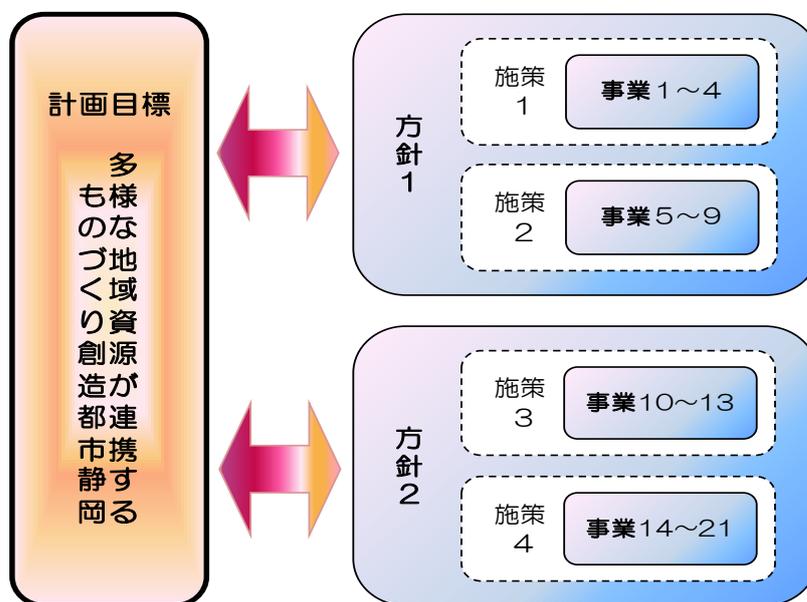


図1 基本計画の体系（方針1及び方針2の抜粋）

このようなことから、次項以下では、各方針の進捗状況を把握するために、表1のとおり、各種事業の実施結果について、AからCまでの3段階による区分に加え、数値目標を設けていない事業の4つに振り分けています。

なお、事業の成果目標に関しては、単年度毎のものと計画期間の3年をベースとするものとの2つに大別しています。そのため、今年度の報告に関する成果目標については、表1の留意事項に掲げる内容を参考にさせていただきたいと思えます。

事業区分等	成果目標に対する事業の進捗状況等
A	成果目標を上回った事業
B	成果目標をほぼ達成した事業
C	成果目標を下回った事業
※	数値目標を設けていない事業
(留意事項)	1) 成果目標の年度毎の捉え方 計画期間の3年間を成果目標として設定している事業については、目標数値を3分の1として平準化を図り、それを今年度の成果目標として、上記のAからCの区分に適用させて実施状況を判断しています。 2) 施策の付記 参考まで当該方針を構成する施策を同表の冒頭に記載してあります。

表1 成果目標に対する各種事業の進捗状況等

## (1) 方針毎の実施状況

### ①方針1 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上

方針1では、表2のとおり、成果目標を下回ったものが2事業あるものの、4事業において成果目標以上の進捗状況にあります。また、事業8についても、概ね成果目標どおりの進捗状況にあることから、方針の進捗状況に関しては、比較的順調な事業展開のもとで推移しているものと捉えられます。

その他、事業4の理工系大学の誘致及び市内の既存大学における工学部新設の検討事業については、地元の中小企業への支援策を進展させるため、昨年度から協議を継続している静岡理工科大学との連携強化に向け、相互に検討を進めました。今後は、静岡理工科大学との連携を推進するとともに、地元中小企業のニーズを捉えることなどを含め、静岡商工会議所の製造業部会などとも連携を図り、大学誘致等の共通認識を持ちながら、事業進展を進めていきたいと考えています。また、事業9の技能検定の受験及び技能五輪への参加等に向けた支援の検討事業では、静岡県職業能力開発協会・静岡商工会議所に支援状況についてのヒアリングを実施するとともに、そのヒアリング結果と前年度に実施した他政令市への実態調査の結果をもとに、支援の条件・申請方法・交付先等の支援事業に関して、具体的な検討を行うことができました。

特に、事業2の(仮)経営者と大学生との縁結び事業では、3年間の参加者数を360人と見込む中、平成24、25年度だけで294人の参加者を数え、進捗率81.7%を達成していることから、今後の事業展開によっては、成果目標を超える実績に期待が持てます。また、事業6の若手後継者の技術習得支援事業においては、平成25年度に37人の受講希望者を受け入れ

ることができたため、前年度同様に想定を超える 123.3%の進捗率を達成しています。

さらに、事業7の伝統工芸技術秀士の指定及び顕彰の推進・PR活動の促進事業では、平成25年度に対象者不足等の理由によって、新たな伝統工芸技術秀士指定の指定を見送ることになりましたが、展示会等については、3年間の成果目標15回に対し、平成24、25年度の2年間で、14回開催することができたため、達成率93.3%という高い進捗率を達成しています。

構成施策	施策1 地域における人材確保への支援 施策2 技術者、経営者等の能力向上への支援
A	事業2 (仮)経営者と大学生の縁結び事業 事業5 人材育成に係る各種講座・セミナー等の開催 事業6 若手後継者の技術習得支援(伝統工芸技術保存講習会) 事業7 伝統工芸技術秀士の指定及び顕彰の推進及びPR活動の促進
B	事業8 クラフトマンサポート事業の拡充
C	事業1 企業と大学等との就職に関する情報交換の促進 (未達成理由) 一般企業及び県が類似事業を実施したため (改善方法) PR及び対象企業の拡大 事業3 定年延長を見越した中高年技術研修の検討 (未達成理由) 関係団体へのヒアリング及び前年度実施の他都市への実態調査結果から支援実施に向けた検討に終始することとなったため (改善方法) 関係団体との連携強化に向けた情報共有、協議を進めていく。
※	事業4 理工系大学の誘致及び市内の既存大学における工学部新設の検討 事業9 技能検定の受験及び技能五輪への参加等に向けた支援の検討

表2 事業実績に基づく方針1の進捗状況区分

## ②方針2 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援

方針2については、表3のとおり、成果目標を下回ったものが2事業ある一方で、それ以外の事業では、成果目標以上の進捗状況にあることから、方針の進捗状況に関して、比較的順調な事業展開のもとで推移しているものと捉えられます。

その中でも、事業10の若手グループの商品開発支援事業では、年1回の開催を予定していたところ、技術講習会として4回を開催することができました。また、他の講習会等については、5回の開催目標から21回に増やして取り組んだことで、大幅に成果目標を上回ることができました。さらに、事業15の専門家による窓口相談においては、3年間で900件の相談目標件数に対して、2年間で1,001件の相談対応実績を上げることができたため、111.2%の進捗率に達成しています。事業12の全国規模等の見本市への出展助成強化については、信用金庫を中心に制度の周知活動に努めたこともあり、3年間で140件の助成件数という目標に対して、平成24～25年の2年間で102件の実績を上げることができました。進捗状況は、平成25年度末時点で72.9%に達しているため、平成26年度末には成果目標を達

成できるものと推測しています。加えて、事業 19 の創業者等の営業機会拡大等のための各種事業の実施については、3年間で1,200件の成果目標を想定したところ、平成24、25年度で2,533件の実績を上げることができたため、事業展開が好調に推移しているものと考えています。

一方、成果目標を下回った事業16のコンサルティングの実施事業については、事業内容が事業者には十分に行き届いていない状況が確認されたため、次年度以降の事業展開にあたっては、支援機関との連携強化や支援活用方法の検討を行い、前年度に引き続き、利用事業者を増加させていく具体的な手立てを検討していく必要があります。

このような進捗状況にある方針2については、一部に改善を要する事業が見られるものの、多くの事業において、成果目標以上の順調な進捗が確認されることから、事業者のニーズへの支援に関する方針のもとで、事業の進捗が図られている状況にあるものと考えています。

構成施策	施策3 情報戦略、製品開発、販路開拓等への支援 施策4 経営資源確保のための環境整備
A	事業10 若手グループの商品開発支援 事業11 地場産品及び伝統工芸品等の販路開拓推進 事業12 全国規模等の見本市への出展助成強化 事業13 中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援 事業14 マーケティング支援講座の実施 事業15 専門家による窓口相談 事業19 創業者等の営業機会拡大等のための各種事業の実施
B	事業17 専門家の指導による商品企画・開発支援 事業18 起業に向けたビジネスプランの策定等の支援 事業20 専門家の指導等による商品企画・開発等支援の拡充（新商品・特許） 事業21 大学等研究機関への相談機会の拡充
C	事業16 コンサルティングの実施 （未達成理由）事業内容の周知が行き届いていない （改善方法）支援機関との連携強化、支援活用方法の改善

表3 事業実績に基づく方針2の進捗状況区分

### ③方針3 連携を活かした新たな取組みの推進

方針3については、表4のとおり、他の方針と比較して、数値目標が設けられていない事業が多く掲載されています。また、他の事業においては、成果目標以上の実績を有する事業が多くある一方で、成果目標を下回った事業が確認されない状況にあります。

まず、成果目標以上の実績を達成したもののうち、特に顕著な進捗が見られる事業としては、事業24と事業28が挙げられます。事業24のメーカーとクリエイターのマッチング・ブランド化の支援事業については、3年間で3件の新商品開発数とする目標に対して、平成25年度だけで5件の実績を上げた結果、2年で11件を数えることとなったため、進捗率は

366.7%に達しています。また、事業28の駿河湾地域循環型社会の推進と新事業の創出プロジェクトの推進事業では、事業化件数を3年間で3件とした目標に対して、平成24年度に2件、平成25年度に1件の事業化が図られているため、2年で成果目標を達成しています。そのことから、新事業の創出に向けた支援事業が順調に展開されているものと考えています。

事業29のアーティストとのコラボレーション支援推進事業については、2か年度の事業として取り組みを進めていました。平成25年度については、開発数20点（平成24～25年度）の成果目標に対して、目標を大幅に上回る60点を開発しました。さらに、首都圏における見本市へ2回出展、地元百貨店に1回出展することで、販路開拓を継続的に実施しました。

一方、数値目標が設けられていない事業に関しては、事業の成果創出に向けて、異業種企業交流会や技術相談会のほか、セミナー等を開催するなど、関係機関等との調整を図りながら進捗が図られています。

これらの進捗状況を受けた方針3の進捗状況については、今後、更なる進展が望まれる事業が多く見受けられるものの、多くの事業において、成果目標以上の進捗が確認されることから、連携を活かした新たな取組みを推進させる方針のもとで、事業の進捗が図られている状況にあります。

構成施策	施策5 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援 施策6 研究開発や事業化等に関する支援
A	事業24 メーカーとクリエイターのマッチング・ブランド化の支援 事業28 駿河湾地域循環型社会の推進と新事業の創出プロジェクトの推進 事業29 アーティストとのコラボレーション支援推進 事業31 地域課題に係る産学共同研究への支援
B	事業22 産学官交流事業の推進 事業35 ものづくり先進都市等に関する調査研究
C	—
※	事業23 異業種交流事業の推進 事業25 農商工連携の推進 事業26 フーズ・サイエンスヒルズプロジェクトの推進 事業27 地域結集型研究開発プロジェクトの推進 事業30 新産業開発振興機構の活用に関する検討 事業32 大学等研究成果の技術移転の推進 事業33 産業構造の将来予測等に関する調査研究の検討 事業34 地域間競争に臨む戦略的方策等の検討

表4 事業実績に基づく方針3の進捗状況区分

#### ④方針4 ものづくり産業を育てる環境整備

方針4に掲げる事業については、表5のとおり、事業数そのものが少ない中、数値目標が設けられているものが1事業、その他2事業に数値目標が設定されていない状況にあります。

成果目標を掲げる事業 36 の企業立地の推進に関しては、新規企業立地の年間目標件数 14 件に対して、積極的な企業訪問に取り組むとともに、各種情報や助成制度の情報提供を実施したことから、17 件の立地に成功し、進捗率 121.4%を達成しています。

その他 2 事業の内、事業 37 の国、県、民間の産業支援機関や団体と連携した支援事業については、市産学交流センター及び清水産業・情報プラザのホームページ等を活用して情報提供を実施する以外にも、月 2 回のメルマガ配信や Facebook ページ等による情報発信を行いました。また、事業 38 の中小企業の事業継続計画策定に関する支援事業については、BCP に関する専門家の派遣を 3 件実施しました。その内、清水産業・情報プラザの製造現場改善支援事業において、BCP 策定の支援コースを追加したものの、1 件の実績に留まったため、今後は、今回の事業メニューの追加等について周知を図っていきたいと考えています。

このようなことから、方針 4 の進捗状況については、成果目標以上の事業が確認されたことに加え、情報提供や普及啓発にも取り組めたため、ものづくり産業の環境整備に関する方針のもとで、事業の進捗が図られている状況にあります。

構成施策	施策 7 企業の誘致及び市内留置の促進 施策 8 情報の窓口の一元化に向けた事業者支援体制の整備 施策 9 災害発生後における事業の継続等に向けた支援
A	事業 36 企業立地の推進
B	—
C	—
※	事業 37 国、県、民間の産業支援機関や団体と連携した支援 事業 38 中小企業の事業継続計画策定に関する支援

表 5 事業実績に基づく方針 4 の進捗状況区分

#### ⑤方針 5 ものづくり産業への理解促進と情報発信

方針 5 では、表 6 のとおり、成果目標を下回ったものが 1 事業ある一方で、それ以外の事業では、順調に事業展開が図られ、成果目標を達成した状況にあります。

その中でも、事業 41 高校生のインターンシップ事業については、インターンシップの学生と受け入れ企業の双方に対するアンケートの実施や、ジュニアインターンシップ説明会の実施等を通じて、積極的な利用促進を図ることができました。これにより、3 年で 90 人参加の成果目標に対して、平成 25 年度だけで 98 人の参加実績を上げることができたため、24～25 年度において対成果目標 204.4%を達成しています。

また、事業 39 における①スペシャリスト派遣事業については、平成 24 年度をもって事業を終了したとともに、その他の②民間講師の活用、③職場体験学習の全校実施、④職場体験学習受入事業所掲載事業数 150 事業所に関する事業については、成果目標を達成しております。さらに、事業 46 の首都圏におけるプロモーションの強化（ホビーのまち）事業について

ては、当初予定していた新宿駅西口におけるプラモデル展について、展示スペースの広さや物販に関する規定等により、開催を見送っています。その代わりとしては、同所において、12月開催のクリスマスフェスタや静岡ホビースクエアに関するチラシ・パンフレットを配布することで、首都圏におけるイベント周知のPR活動を実施しました。

構成施策	施策 10 ものづくり産業と教育機関の連携強化 施策 11 ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進
A	事業 39 次世代育成プロジェクト事業 事業 41 高校生のインターンシップ事業 事業 44 経済セミナー等の開催 事業 47 静岡市ブランド認証制度の拡充 事業 48 市民向けものづくり体験・学習イベントの開催
B	事業 45 首都圏におけるプロモーションの強化（特産品東京展示会） 事業 46 首都圏におけるプロモーションの強化（ホビーのまち）
C	事業 49 ものづくり現場企業見学会の開催 （未達成理由）見学を希望する企業との協議の中で、見学者の受け入れ人数や時間等の調整が難しく、見学会の開催が1件に止まってしまった （改善方法等）静岡商工会議所製造業部会と連携を図り、受入企業の選定について協議を重ねていく
※	事業 40 こどもクリエイティブタウンの整備（平成25年1月開館） 事業 42 体験型観光プログラムの開発と誘客の推進 事業 43 産業観光等のニューツーリズムの推進

表6 事業実績に基づく方針5の進捗状況区分

さらに、数値目標を設けていない事業の内、事業43の産業観光等のニューツーリズムの推進事業では、県中部地区観光協議会において、産業観光をはじめ、グルメやお茶、スポーツやサイクリング等、様々なテーマ別観光メニューの開発を検討しました。

一方、成果目標を下回った事業49のものづくり現場企業見学会の開催においては、事業の実施に向けた企業や関係団体等との調整が困難であったことが原因として挙げられます。今後は、静岡商工会議所製造業部会と連携を図り、事業を進めていきたいと考えています。

これらのことに基づく方針5の進捗状況については、成果目標を下回った事業が見られるものの、成果目標以上の実績を有する事業が多く確認されるため、ものづくり産業への理解促進などの方針のもとで、事業の進捗が図られている状況にあると考えています。

## (2) 実施状況の総括

基本計画の実施状況に関しては、計画目標を支える重要な方針レベルにおいて、表7のとおり、5つの方針で概ね進捗が図られているとともに、事業レベルの進捗状況からも、成果目標以上の達成を示すA（21事業）及びB（9事業）に該当するものが、全49事業の61.3%を占める結果となっています。また、A評価の事業が、前年の19事業から2事業増加とな

る一方で、未達成であるC評価の事業が1事業減少しているため、事業が順調に展開することができただけでなく、C評価の事業についても、列記された課題への改善に進んでいるものと捉えています。

さらに、全49事業の内、成果目標を掲げている34事業に対するA及びBの合計割合（30事業）は、88.2%になるとともに、成果目標を設けていない事業においても、各種セミナーの開催などを通じて、中小事業者等に対する情報提供などの支援展開が進められています。

該当事業数 〇 内は平成24年度

方針区分	事業区分等	該当事業数	方針別 (%)	4区分 (注1)	方針別進捗評価	事業区分別	該当事業数	事業別 (%)	3区分 (注2)	
方針1	A	4 (4)	44.4	55.5	○	A	21	42.9	61.3	
	B	1 (1)	11.1							
	C	2 (2)	22.2							
	※	2 (2)	22.2							
	小計	(9)								
方針2	A	7 (7)	58.3	91.6	○	B	9	18.4		
	B	4 (3)	33.3							
	C	1 (2)	8.3							
	小計	(12)								
方針3	A	4 (2)	28.6	42.9	○	C	4	8.2	8.2	
	B	2 (4)	14.3							
	※	8 (8)	57.1							
	小計	(14)								
方針4	A	1 (1)	33.3	33.3	○					
	※	2 (2)	66.6	66.6						
	小計	(3)								
方針5	A	5 (5)	45.5	63.7	○	※	15	30.6	30.6	
	B	2 (3)	18.2							
	C	1 (1)	9.1							9.1
	※	3 (2)	27.3							27.3
	小計	(11)								
事業数計		49	—		—	—	49	—	—	
各方針の進捗状況に対する総合的な評価		◎ : 十分に進捗が図られている      ○ : 概ね進捗が図られている △ : 進捗が図られていない          × : 全く進捗が図られていない								

注1) 各方針の事業に関して、成果目標以上とその他により事業を区分しています。

注2) 3区分による表記は、全49事業を成果目標以上とその他によりを区分しています。

注3) 方針別の割合について、必ずしも100%にならない項目もあります。

表7 方針別の進捗評価及び事業区分別の進捗状況

これらのことから、基本計画全般にあつては、図2のとおり、計画目標の「多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡」に向けて、各種の事業成果を創出しながら、順調かつ着実に実施されている状況にあります。

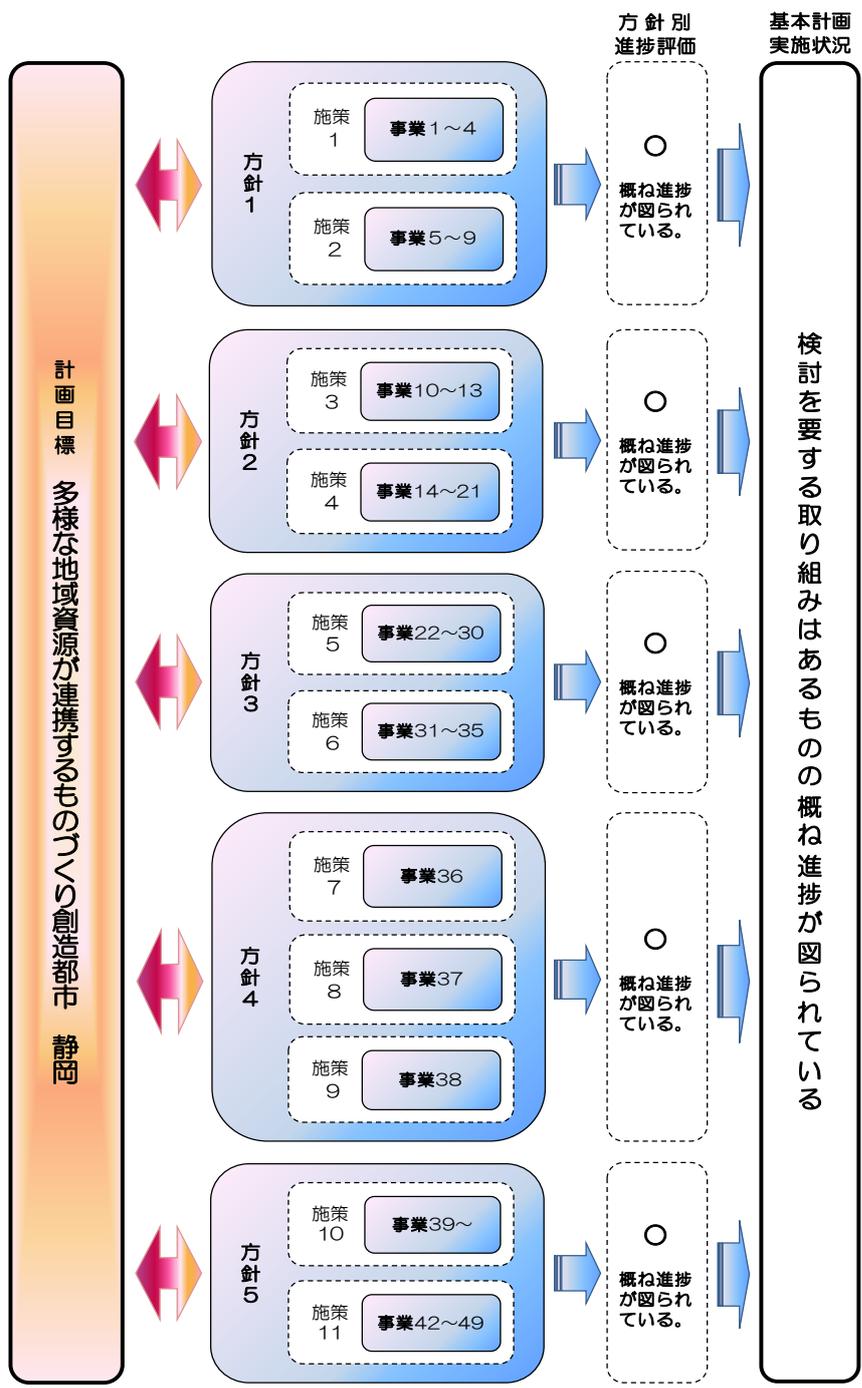


図2 基本計画の方針別進捗評価に基づく実施状況